

デビュー50周年 萩尾望都 ポーの一族展

福岡県大牟田市出身の漫画家、萩尾望都（1949- ）のデビュー50周年を記念して開催する展覧会。代表作「ポーの一族」は、バンパネラ（吸血鬼）となって永遠に少年の姿のまま生きていく運命を背負ったエドガーと、彼をめぐる数世紀にわたる群像劇を描いたもので、1972年の第一作発表以来、多くの読者を魅了してきました。本展では、新作も含めた「ポーの一族」シリーズの原画に加え、「トーマの心臓」などの名作の数々、本展のための描き下ろし、さらに執筆の舞台裏なども紹介し、萩尾望都の魅力に迫ります。

展覧会名	デビュー50周年記念 萩尾望都 ポーの一族展
会期	2021年4月17日（土）— 6月13日（日）
出品点数	原画、予告カットなど、総数約300点
会場	久留米市美術館（本館2階）
主催	久留米市美術館、朝日新聞社、テレQ
後援	久留米市教育委員会、大牟田市、大牟田市教育委員会
総監修	萩尾望都
特別協力	小学館
協力	宝塚歌劇団、秋田書店、講談社、集英社、新書館、白泉社
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、 喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー
入館料	一般800円（600円）シニア600円（400円）大学生500円（300円） 高校生以下無料 障害者の方は手帳のご提示で、ご本人と介護者1名は一般料金の半額。 （ ）内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上。 上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。 4月25日（文化センター開園記念日前日）と5月5日（こどもの日）は入館無料。
休館日	月曜日（5月3日は開館）
開館時間	10:00-17:00（入館は16:30まで）
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関する お問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：森山秀子、佐々木奈美子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131/FAX0942-39-3134

萩尾望都



①

1949年福岡県大牟田市生まれ。1969年「ルルとミミ」でデビュー。1976年小学館漫画賞、2006年日本SF大賞、2016年度朝日賞ほか受賞多数。2012年度紫綬褒章受章。2019年度文化功労者の顕彰を受ける。2020年大牟田市民栄誉賞を受賞。

「デビューして50年目に思うことは、『漫画家という職業があつて本当に良かったなあ』。やはりいまでも漫画を描いていると幸せだし漫画家以外にやりたいこともない。

若い頃の絵の線は若い（当たり前だが）。年を重ねると筋力と視力が衰えた分だけ絵も次第に年をとるのが描いていて解る。それは仕方がない。時間は常にわれわれの伴走者だ。」

（「デビュー50周年によせて」本展公式記念BOOKおよび会場パネル冒頭部分より）

展覧会の構成

以下の4章構成で紹介します。

第1章 ポーの一族の世界—はるかなる一族によせて—

1972年に発表された第一作「すきとおった銀の髪」から1976年の「エディス」まで、物語の時間軸を行き来しながら描き継がれた15のエピソードを発表順に紹介します。



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

第2章 宝塚歌劇の世界—極上の美 永遠の命—

2018年、宝塚歌劇花組によって上演された「ポーの一族」の奇跡のステージを再現し、あわせて衣装や小道具なども紹介します。



⑨

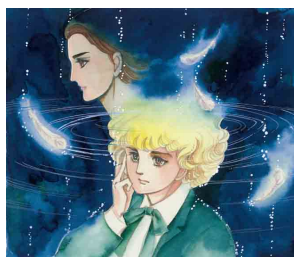


⑩

©宝塚歌劇団

第3章 トーマの心臓の世界—少年たちによせて—

もうひとつの代表作「トーマの心臓」(1974年)は、ドイツの全寮制ギムナジウムを舞台に、少年たちの葛藤と成長を描いたもの。その前後に連なる「11月のギムナジウム」、「湖畔にて」、「訪問者」、さらに「残酷な神が支配する」(1992-2001年)まで、少年たちをめぐる物語を振り返ります。



⑪



⑫

©萩尾望都／小学館

第4章 萩尾望都の世界—50年の軌跡をたどる—

デビュー作「ルルとミミ」、「11人いる!」(1975年)、「マージナル」(1985-87年)などの他、2016年、40年振りに再開され大反響を呼んだ「ポーの一族」新シリーズによって、萩尾望都の50年の軌跡を紹介します。



⑬



⑭

©萩尾望都／小学館



⑮



⑯



⑰



⑱

©萩尾望都／小学館

関連イベント

トークイベント「今よみかえす『ポーの一族』」

要申込・聴講無料

1970年代に登場し、少女漫画を刷新した萩尾望都『ポーの一族』。その衝撃や文化的ルーツを語るクロストークです。新たに動き始めた物語とともに、もう一度、あの遥かなる一族に思いを馳せてみませんか。

日 時／5月8日（土）14:00-16:30（開場 13:30）

パネラー／橋本博氏（合志マンガミュージアム館長）

原田誠一氏（コレクター・研究者）

会 場／石橋文化ホール（石橋文化センター内）全席自由

申込方法／参加を希望される方の氏名とふりがな（2名まで可）と代表者の方の連絡先（郵便番号、住所、電話番号）をご記入の上、ハガキまたはFAXで申し込み。4月23日（金）必着。応募結果は4月30日（金）までに応募者全員にお知らせします。

申 込 先／久留米市美術館・イベント係

〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015 FAX 0942-39-3134

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. web ページ掲載の場合は、必ずコピーガードの処理をお願いします。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください